

鎌倉なんみん共生フォーラム・第2回学習会のご案内

本年2月のロシア軍によるウクライナ侵攻で、1200万人以上が難民として母国を離れざるを得ない状況になりました。日本にも9月12日現在、1800人を超えるウクライナ人が避難民として来日し、日本政府、自治体、企業、市民が積極的に支援を行っています。アルペなんみんセンターにも、4月から2名が滞在しました。

その一方でアフガニスタン、ミャンマー、スリランカ、クルド、シリア等々、ウクライナ以外の国・地域からも戦火を逃れて日本にたどり着き、難民認定を待ち続ける人々があります。

今年は、日本で難民条約が発効されて40周年にあたります。40年を振り返り、日本社会として、地域社会として「難民を歓迎できる社会に」向けて共に考えたいと思います。

YouTubeで同時配信いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。



日時 2022年 **11月18日** (金) 14:00 ~ 16:00

14:00 ~ 15:00 基調講演 (YouTube 同時配信) / 15:10 ~ 16:00 意見交換 (会場参加者のみ)

「日本の難民受け入れ40年を振り返る ～インドシナ難民からウクライナ避難民まで～」

講師：**阿部浩己**さん (明治学院大学 国際学部教授)

国際平和研究所所長。公益社団法人自由人権協会評議員。難民研究フォーラム共同代表幹事。NGO ヒューマンライツ・ナウ初代理事長。元国際人権法学会理事長。元日本平和学会会長。元川崎市人権施策推進協議会会長。元法務省難民審査参与員。

場所 カトリック雪ノ下教会レベックホール (鎌倉市小町2-14-4、JR 鎌倉駅徒歩5分)

*参加申込 無料、アルペなんみんセンターのホームページまたは、QRコードよりお申込下さい。

■ 会場参加 定員 30名 (コロナ対策のため、会場参加人数を限定しています)

*会場参加は、鎌倉市内で活動している諸団体の関係者に限定しています。

*会場参加希望者多数の場合は、オンライン参加をお願いすることがあります。

■ オンライン参加 (YouTube 配信、基調講演のみ) *定員なし*アーカイブ視聴が可能です。



QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

鎌倉なんみん共生フォーラムとは？

鎌倉市では、それぞれの多様性を認め、お互いを思い、誰もが自分らしく、安心して暮らすことのできる「共生社会」の実現を目指し、2019年4月に「鎌倉市共生社会の実現を目指す条例」を定めました。また、2021年7月鎌倉市議会は「人道的見地で難民政策の見直しを求めることに関する意見書」を日本政府に提出いたしました。自治体として国に対して難民政策に関する意見書は初めてです。

先進諸外国では、難民の地域社会、自治体による受け入れが実践されています。2021年11月には学習会「カナダに学ぶ難民の受け入れ—プライベートスポンサーシップを通して」(講師:新島彩子 認定NPO法人難民支援協会 理事)を開催し、活発な意見交換を行いました。今後も「鎌倉なんみん共生フォーラム」として、鎌倉で難民との共生社会推進のための緩やかなネットワークを構築することになりました。

共催：鎌倉なんみん共生フォーラム / NPO 法人アルペなんみんセンター

連絡先：NPO 法人アルペなんみんセンター 神奈川県鎌倉市十二所80 Tel 0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp